

中小トラック運送業者における低炭素化推進事業（国土交通省連携事業）
2,965百万円（2,965百万円）

水・大気環境局自動車環境対策課

1. 事業の必要性・概要

投資余力の少ない中小トラック運送業者を対象に、燃費性能の高い環境対応車両への買い換えを促進することにより、国内物流において大きな役割を果たしているトラック輸送におけるCO2排出削減を図る。

2. 事業計画（業務内容）

- ・ 中小トラック運送業者における営業用トラックのうち、平成16年度以前に新規登録された経年車から燃費性能の高い環境対応車両への代替を進めるため、補助金を交付する。
- ・ 交付に当たっては、エコドライブの実施を含む燃費改善のための計画策定及び燃費改善効果の実績を求め、エコドライブに対する事業者の意識の向上等を図る。

3. 施策の効果

長期間使用されている経年車から燃費性能の高い環境対応車両への代替及びエコドライブに対する事業者の意識の向上等によるCO2削減。



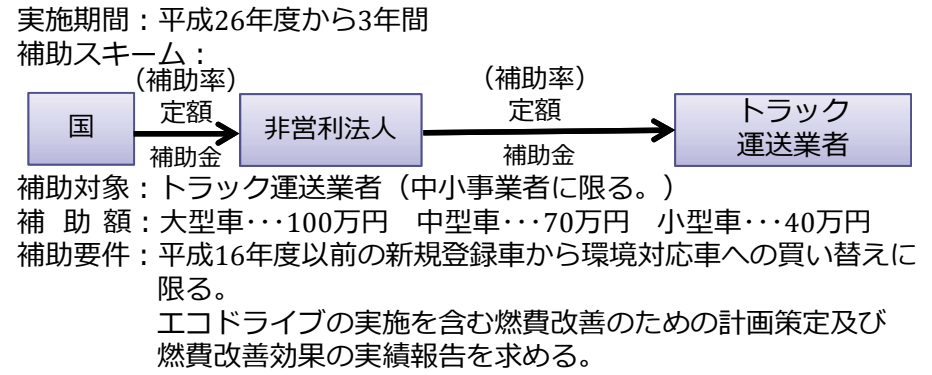
背景・目的

- 国内物流において大きな役割を果たす**トラック輸送におけるCO2排出量を削減するための取組が必要**とされている。
- しかしながら、特に**投資余力の少ない中小事業者においては、次世代車両は、価格が高価であること、インフラ上の制約があること等の理由から、一定の者はディーゼルトラックを使用し続けることとなる。**
- **これらの者が燃費性能の低い長期経年車を使用し続けているところ、中小事業者のCO2排出削減対策として、燃費性能の高い環境対応車両への代替を促進することでトラック輸送におけるCO2排出削減を図ることを目的とする。**

事業概要

- **中小トラック運送業者について、燃費性能の高い環境対応車両への代替を支援する。**

事業スキーム



期待される効果

- 長期間使用されている**経年車から燃費性能の高い環境対応車両への代替を促進し、トラック輸送における低炭素化を実現。**
- **エコドライブの実施を計画に盛り込むことにより、エコドライブに対する事業者の意識の向上等が期待され、更なる低炭素化が期待される。**

中小事業者のCO2排出削減対策（中小トラック運送業者における低炭素化推進事業）

・使用年数の長い古いトラック



➔



環境対応車
への代替

➔

省エネ法において輸送事業者の目標とされている1%以上の燃費改善効果

事業目標

ディーゼルトラックを使用し続ける中小トラック運送業者について、長期間使用されている**経年車から燃費性能の高い環境対応車両への代替を促進**することで、営業用トラックのうち、**平成16年度以前に新規登録された車両の割合を平成28年度末までに平成24年度比で20%以上低減し、トラック輸送における低炭素化を推進。**（平成24年度末57%）